

藤沢市総合教育会議 議事録

会議名	平成 27 年度第 4 回 総合教育会議
開催日	2015 年（平成 27 年）10 月 7 日（水）14:00～14:40
場 所	森谷産業旭ビル 4 階 第 1 会議室
出席者 (敬称略)	(市側) 鈴木市長 (教育委員会) 小竹伊津子、井上公基、中林奈美子、吉田早苗 (関係職員) 教育次長、教育部長、教育総務課長

【議事録】

事務局（司会）

- ・ただいまから平成 27 年度第 4 回総合教育会議を開催いたします。会議に先立ち、傍聴者に確認をいたします。本日、録音、録画、写真撮影等を希望する方はいらっしゃいますか。（なし）
- ・それから任期満了により教育委員をお辞めになった阪井委員に代わり、10 月 1 日付で新たに中林奈美子委員が新教育委員に選任されました。一言、ごあいさつをお願いいたします。

中林委員

- ・皆様、はじめまして、この 10 月 1 日に教育委員に就任いたしました中林奈美子と申します。
- ・PTA 活動を長く携わっておりましたので、そこで勉強したことを活かしていけたらと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局（司会）

- ・それでは、会議に入りたいと思いますが、開会にあたりまして座長の鈴木市長よりごあいさつをお願いいたします。

鈴木市長

- ・皆さん、こんにちは。すっかり秋らしくなってきました。今年も残すところ 3 カ月足らずとなりました。今日は第 4 回総合教育会議となります。活発なご意見をお願いいたします。
- ・10 月に入り、年度でいえば真ん中が過ぎたわけですが、10 月 1 日からマイナンバー法の施行や、スポーツ界ではラグビーのワールドカップが行われて、日本チームが 3 勝を挙げるといった嬉しいニュースもありました。また、ノーベル賞では大村智さんが医学・生理学賞を、また、昨日は梶田隆

章さんが物理学賞を受賞したという大変嬉しいニュースも飛び込んでまいりました。

- ・お二人とも「人のために何ができるか」ということが印象的であり、我々も何か役に立てていければいいなと思っているところでございます。
- ・市内でも 10 月になりますと、レクリエーション大会や各公民館では文化祭等いろいろな事業が行われて、実りの秋真っ盛りであると感じております。
- ・そういう中で「教育に関する大綱」も、委員の皆様からいろいろご意見をいただいた中で素案をまとめましたので、それに基づいて協議をしながら、今回を含め次回にはおおよその目鼻をつけていきたいと思っておりますので、ご協力、よろしくお願いいたします。

事務局（司会）

- ・次に、資料の確認をいたします。（資料確認）
- ・これからの議事進行は鈴木座長をお願いいたします。

鈴木市長

- ・それでは、議題（1）議事録署名人について、事務局から説明してください。

事務局

- ・第4回総合教育会議の議事録署名人は、小竹委員と鈴木座長にお願いしたいと思います。

鈴木市長

- ・私と小竹委員ということですので、よろしくお願いいたします。
- ・次に、議題（2）教育に関する大綱（素案）について、まず、事務局から説明をお願いします。

事務局

- ・第3回までの総合教育会議の中で、委員の皆様から活発なご意見とたくさんのキーワードをいただき、なるべく多くのキーワードを拾いながら素案を策定してまいりました。
- ・それでは、まず素案①をご説明いたします。
- ・表題は「ふじさわ」と平仮名で柔らかいイメージを持たせながら、「ふじさわ教育大綱」とし、「学びの環・人の和・元気の輪」をサブタイトルに設けております。
- ・「学びの環」については、教育振興基本計画の基本理念から位置づけました。
- ・「人の和」については、市政運営の総合指針 2016 の目指す都市像から位置づけました。
- ・「元気の輪」については、市民憲章本文にうたわれている「元気」という単語と、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックのセーリングが江の島で行われます。
- ・そのオリンピックのシンボルマークの「五輪」の「輪」を使いまして、「元気の輪」という表現にいたしました。「ふじさわ教育大綱」～「学びの環・人の和・元気の輪」が表題となります。
- ・次に、基本的な考え方（前文）についてですが、「すべての人にやさしく手を差し伸べ合い、笑顔を守り、未来への夢や目標に向かって生きる力を育み、みんなが幸せに生きていくまちづくりを進めていくことは、私たちの役割です。

- ・藤沢の伝統や歴史、文化、自然などを活かし、みんなの未来のために学び、考え、人や地域の関わり合いの中で、未来に向けた藤沢市の教育、学びにみんなで取り組みます。」とし、みんなの役割なんですということを決意として表現しております。
- ・なお、「みんなの未来のため」といったところは、子どもたちを含めたすべての皆さんの未来のためということで、俯瞰的な意味を持たせております。
- ・前文について、こういった素案を提案させていただくのは、地方自治体を取り巻く背景が超高齢化、核家族化の進展などで子どもたちを取り巻く環境が複雑化していることを背景としながら、子どもは地域の宝であり、藤沢市の未来の宝なんですということ、子どもたちの生きる力、学びから幸せを導くまちづくりをしていくという意味合いを持たせております。
- ・それから藤沢市の財産は、先人たちから育まれてきた文化や伝統、郷土愛といったものがありますので、「郷土愛あふれる藤沢」を、学びを通してみんなで構築していくという形の決意を表現しております。
- ・次に、「基本的な方針（本文）」については、3段落の構成としました。
- ・「学びの環を未来につなげよう」では、「学びの環を広げ、知力と徳力を高めることで、礼節を重んじ、自らを成長させながら社会の変化に対応できる力を持てるよう、誰もがいつでもどこでも学ぶことができる学習の機会を創出するとともに、学んだことを地域で活かせる環境づくりを進めます。」
- ・「人の和を未来につなげよう」では、「人の和を大切にし、家庭と地域のつながりを深めることで、みんなが社会の一員としての自覚と役割をもち、郷土や文化への愛着を高め、マルチパートナーシップに基づき多様な価値観を認め合い、共に生き、支えあう社会を育み、次世代へ継承します。」
- ・「元気の輪を未来につなげよう」では、元気の輪をつなぎ、健やかで笑顔あふれる毎日を過ごすことができるよう、学校と地域が持つ資源を地域活動に活かし、心身の体力を育むことで、子どもたちの社会参加や学びの意欲を高め、他者の心を尊重して行動する豊かな心を育みます。」ということです。
- ・「学びの環」については、生涯学習の視点を含ませてもらって、世代や時間を超えて環としてつないでいきましょう。いつでも誰でも学び続けられる、そして地域で活かしあえる地域のあり方を目指した形になっております。
- ・「人の和」については、学校、家庭、地域と行政のマルチパートナーシップを前提に、多様な価値観を認め合う共生社会が必要ではないかということを目指して掲げております。
- ・「元気の輪」については、藤沢市の持つ地域資源や2020年のオリンピック・パラリンピックを活用しながら、生涯スポーツや心身の体力といったところに、いじめに負けないとか、それを許さないといったところの子どもたちの社会参加や学びの意欲、思いやりなどの豊かな心を育むことを位置づけました。
- ・この3つについては、教育振興基本計画の基本理念の3つの基本目標にリンクをさせてもらって、「元気の輪」に対応させているのが「一人ひとりの夢を育み、未来を拓く子ども（藤沢っ子）育成する。」で、「学びの輪」に対応させているのが「多様な学びをつなげる生涯学習ネットワークを構

築する。」で、「人の和」に対応させているのが「学校、家庭、地域、行政が連携、協働する子育て、教育支援体制を推進する。」という3つの基本目標にリンクをさせております。

- ・素案①の大綱については、決意とかメッセージとして利活用も合わせて考えていけるような大綱の素案としております。
- ・引き続き、素案②の説明をいたします。
- ・基本的な考え方とか記載する内容については、これまでの議論を踏まえておりますので、素案①とほとんど変わっておりませんが、2つ用意をいたしましたのは、教育の根本に関する大綱ということで、教育の理念、教育政策の持続性のある程度意識する中で、教育基本法の教育の目的というものにとらえながら、本市の教育振興基本計画、市政運営の総合指針2016の都市像を織り込んで作成したものです。したがって、内容としてはかなり形式的で、硬い表現というか、法律文のような表現が中心になっております。
- ・資料A3の右側とA4の10ページにまとめて記載しておりますので、ご確認いただきたいと思っております。
- ・「構成」については市民憲章と同じような形で、表題と前文、本文は3項目立てにしております。表題ではサブタイトルは素案①と同じ「学びの環・人の和・元気の輪」とし、教育振興基本計画の目標とか、市政運営の総合指針から同様に位置づけております。
- ・「前文」については、教育基本法第2条の「教育の目標」を中心に、本市の特徴でもある自然、文化、郷土への愛着に加え、教育における個性の尊重、生涯学習というところを踏まえながら記載しております。
- ・「本文」については、表題のサブテーマ「学びの環・人の和・元気の輪」で、それぞれ1項目ずつにしております。
- ・1点目は、教育基本法と教育振興基本計画の目標、基本方針から生涯学習、教養、文化、道徳と個人の尊重というところで、いじめ問題対策等を象徴している形にしております。
- ・2点目は、学校、家庭、地域、行政の連携を中心に、男女共生、多文化共生といったところも含めた協働、公共の精神を位置づけております。
- ・3点目は、心身の健康を中心に、オリンピックの開催も踏まえて元気、笑顔といった生活の質、氣を得るといったところの向上をイメージしております。詳細については省略させていただきますが、A4の方で、それぞれの根拠、位置づけを記載しておりますので、後ほどご覧ください。説明は以上でございます。

鈴木市長

- ・事務局の説明が終わりました。
- ・「学びの環・人の和・元気の輪」が大筋で、素案①と②という感じなのかと思います。前回の意見の中には、わりと親しみやすいものが良いとか、藤沢というのはフォーマルの形ではなくて、藤沢らしいものの方が良いという話もありました。

- ・そういったものを踏まえて、素案①、②にしても足りないものもあるかもしれませんが、少しご意見をいただきながら、次回あたりで決めていければと思っておりますので、基本的な面でご意見がありましたらお願いします。
- ・基本的な市の方針とかあらわしたい用語、特に「笑顔」とか「人の和」はしっかり入っていると思います。

吉田委員

- ・大綱素案については柔らかい方、硬い方と両方お示しいただいたので、わかりやすいと思います。
- ・私も「笑顔」がどこかに入らないかと考えていたのですが、きちんと前文に入れていただいている、「笑顔を守り」という言葉がふさわしいかどうかはわからないけれども、こんな形で入れていただくと非常にいいと思います。
- ・私の感想は柔らかい①案がよろしいと思います。まとめ方として、A4の10ページの②案の文字が大きくて、はっきりしていてわかりやすい感じがするのですが、それと同じ形で、4ページの「基本的な方針」の黒ポチ3つ「・学びの環を未来につなげよう」「・人の和を未来につなげよう」「・元気の輪を未来につなげよう」を大きな形に変えて、説明をつけるといいのではないかと思います。
- ・特にいいなと思ったのは、「環・和・輪」と3つの「わ」でそろえた言葉はとても覚えやすいし、藤沢らしいのではないかと、それぞれの「わ」の字が、市長がよく使われる「ほ」と一緒に、それぞれが意味のある「わ」になっているのがいいと思いました。
- ・そして、それぞれ「つなげよう」で3つのものをしっかり打ち出していて、その中にこういったことが重点なんですという形をとっていただくといいかと思います。「つなげよう」の下の方については、もう少し考えさせていただけたらと思います。
- ・それからもう1つは、「心身の体力」という言葉を使ったのにはびっくりしました。
- ・よく体についての体力はお話するけれども、心にも体力があって、いじめに対して自分がどうしていったらいいのか、いじめをされたとき自分はどのように応えていったらいいのかというあたりがくっきり言葉として出てきたのではないかと思います。

鈴木市長

- ・私も「心身の体力」というのを最初聞いたときはどうかと思ったのですが、よく考えるといい言葉かなという感じはいたしました。
- ・また、「パートナーシップ」も盛んに勧めているところなので、この辺も「人の和を未来につなげよう」というところに入っているかなと思っています。市の行政は「ほ（歩）・ほ（帆）・ほ（穂）」で来ており、こちらは「わ（環）・わ（和）・わ（輪）」で来ているので、相互につながるのではないかと思います。

井上委員

- ・基本的な考えが織り込まれていて、とてもよく練られているものと思っております。ただ、この中で、これからもうちょっと検討されると思いますが、具体的な表現ということで、もう少しわかり

やすい表現にした方が良いというところがあるような気がしますので、検討していただいて、よりわかりやすいものにしていただけたらと思います。

鈴木市長

- ・これは今日決めるわけではないのですが、①案と②案を比べると、どちらの方がよろしいと思われますか。

井上委員

- ・どちらかという、「ふじさわ」の平仮名の方がいいと思うので、①案かなと思います。

小竹委員

- ・すてきな文章に仕上がったのではないかと思います。「学びの環、人の和、元気の環」ということで、縦の線、横の線から藤沢市のイメージをつくり上げていると思います。
- ・私も「ふじさわ」の教育大綱の方が、やさしい言葉でわかりやすく、なじみやすいという点でよろしいかと思います。

中林委員

- ・今回から関わらせていただくことになりました。過去、3回の内容を読ませていただいた中で、どういう形で出来上がってくるのかとと思っていたところ、大変すばらしいものが出てきたと思いました。私も「ふじさわ」の平仮名の方がなじみやすく良いかと思います。
- ・それから「心身の体力」というのは気になっていたところですので、体だけではなく、体は神奈川県の数値がありますが、ぜひ心の体力も養っていただきたいというところでは、すごく良い言葉を充てていただいたと思います。
- ・ただ、素案②の本文の3つの文末に「築きましょう」とまとめておりますので、これが①の方のどこかに入ってくると、よりいいかなと感じました。

鈴木市長

- ・ほとんどの方が素案①の方が親しみやすいということで一致しております。今日は決めませんが、そういうことをご承知おきいただきたいと思います。
- ・また、個々に直すようなところがありますけれども、細かい部分については、事務局と調整して次回にはもう少しすっきりさせていきたいと思います。また、文章ももちろん内容からも枝葉になっているようなところも類推できるというか、展開できるような部分がかかり入っているのではないかと考えております。心の体力、体の体力もありますが、これからの藤沢の健康寿命ということもありますし、教育の段階からそういったことも捉えていかなければいけないという思いを強くしております。また、郷土愛の部分もしっかりと入っておりますけれども、これらをもとに整理した中で次回には決めていくのかどうか。
- ・あと2回ありますが、それでは、①案を中心にもう少しご意見をいただいて、また、お気づきの点があったら、事務局の方に言っていただいて、次回にはある程度まとまるような形でお出しすると

いう流れにしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

事務局

- ・井上委員から、もう少しわかりやすい表現をというご意見をいただきましたが、ここまでの間に①案について、委員の皆さんからいただいたご発言の内容をちりばめているのですが、確かに並び方も含めてわかりにくい表現もありますので、次回までにもう少し精査したものをお出しできればと思います。この間、委員の皆様には改めて目を通していただいて、お気づきの点がありましたら、事務局の方にお寄せいただければと思います。それらも含めてもう少し練り上げてまいりたいと思います。

吉田委員

- ・先ほどからこだわっているのは、「基本的な方針」の書き方です。A3の方を見ると、黒ボチが3つのものについては、即覚えやすい。市民憲章と同じような感じなんですけれども、このまま行ってしまうと、具体性に欠けるということはあるのではないかと。
- ・具体的なものを入れないと、こういう説明をつけないといけないのではないかと思います。素案②の方は、例えば「学びの環を未来につなげよう」というのに対して、「学びの環を拡げ、子どもから大人まで、すべての市民が教養と文化、道徳を高めることで、自らを大切に、夢と希望のある暮らしを築きましょう。」となっているので、一文を読めばすべてが見えるのですが、これを覚えるとなるとなかなか難しい。今まで話をしてきた中では、できるだけ端的に頭に入って行って、みんなが口ずさめて、「藤沢の教育大綱ってこうだよ」と言えるようなものが良いかなと思ってきましたので、非常に難しいと思うのですが、できれば、素案①のような形にさせていただいて、補足を読むことで、それをカバーしていくという形にしてもらえるとありがたいと思います。その文言については、先ほど申し上げましたが、少し考えさせていただきたいと思っています。

鈴木市長

- ・素案②の方は「～しよう調」になっているのですが、この辺は市民憲章でもそういう言い方で呼びかけていくような形になっているので、その辺の方がいいのかなという感じもするけれども、少し具体的なものが類推できるような感じにしておいた方がいいのかなとも思っております。

井上委員

- ・先ほどわかりにくい表現と言いましたのは、私としては素案①の方がいいだろうという頭で話している中に、少し説明が不足している部分があるなと感じたということです。したがって、素案②の内容のものを素案①の方に書き加えてくる分があるなと感じたので、もう少し検討していったらどうでしょうかと発言したということです。

吉田委員

- ・思いつきで申し上げて申しわけないのですが、例えば今、井上委員がおっしゃったような形でいくならば、1のところであれば、「学びの環を未来につなげ、自らを大切に、夢と希望のある暮らし

を築きましょう」というような形で、学びの環が未来にどうつながっていくのかという具体的な姿が見えるようなものを、ちょっとつけ加えていただくと、よりわかりやすいかなという感じがします。

鈴木市長

- ・素案①をベースに、②のよいものを少し入れて具体的なものが類推できるような形にしてほしいということかと思います。他にありませんか。
- ・なければ、そういう形で少し整理して行って、また、委員の皆様にももう一度お読みいただいて、次回にも調整しながら決めていくという流れでよろしいでしょうか。
(「異議なし」の声あり)。
- ・それでは、そのような形で進めていきたいと思います。
- ・次に、議題(3)その他ですが、何かありますか。
(なし)
- ・それでは、事務局にお返しします。

事務局

- ・ただいま整理をしていただきました。
- ・もしくはいただいたご意見については、次回までに一定の整理と練り込んでまいりたいと思います。
次回にはある程度精度の高いもので整理してまいります。大綱は基本的に年度内に策定してまいりたいという目標を持っておりますので、よろしく願いいたします。
- ・以上で、会議は終了となりますが、市長から何かありますか。

鈴木市長

- ・この流れが見えてきますと、話し合いたい件、この場で話し合える内容がいろいろあると思うのですが、そういった部分についてもそれぞれお考えをいただければと思っております。

事務局(司会)


- ・以上をもちまして、平成27年度第4回総合教育会議を閉会といたします。
- ・次回は11月4日(水)18時からとなりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

(午後2時40分 閉会)

2015年(平成27年)11月6日

この会議の経過を記載し相違ないことを確認する。

藤 沢 市 長

鈴木恒夫 

藤沢市教育委員会委員

小竹伊津子 